

## 令和4年度 第2回平塚市地域公共交通活性化協議会

### 1 日 時

令和5年3月20日(月)午後2:00~午後3:00

### 2 場 所

平塚市役所本館619会議室

### 3 出席者

#### 委 員

石黒委員、吉田委員、佐藤委員、井上委員、三浦委員、加倉井委員、  
武井委員、田中(博)委員、鳥山委員、松下委員、高橋委員、田中(勉)委員、  
梶田委員、最上委員(代理 山口氏)

#### 事務局

協交通政策担当部長、森交通政策課長、交通政策課 長谷川課長代理  
ほか担当3名、  
福祉総務課 西山課長代理

### 4 会議の成立

平塚市地域公共交通活性化協議会規約第6条第2項に基づき、委員の過半数の出席  
により成立

### 5 傍聴者

0名

### 6 議 題

- (1) 平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況について
- (2) その他

### 7 議事録

次ページ以降に記載のとおり

議事録

会長	地域公共交通網形成計画に掲げる施策の進捗状況について、事務局から説明の上、質問等を含めて意見交換したいと思います。それでは、議題1について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	(資料1、1-1~6について事務局から説明)
会長	事務局からの説明を受けて、質問や意見等がある方は挙手をお願いします。
委員	資料1-2について、自治会の連合会長と各自治会長が集まる定例会にて説明されているということですが、その反応はいかがだったのでしょうか。 次に、市内の東西間のバス路線がないという意見について、例えば、病院に行きたい場合に、一度駅まで出てきて、バスを乗り換えてから病院に向かうという意見が色々な地域から出ていると思います。こちらについて、バスの巡回ルートを作って、運行するといったことが考えられないか。もしくは、先ほど福祉総務課から説明のあった地域の方の自発的な取組を促していくのか、その辺のお考えはいかがでしょうか。
事務局	まず、自治会の反応についてですが、現状の公共交通について困っているという認識は、あまり持っていないように感じました。そうした中で、手引きを説明しつつ、地域内交通を考える上で、様々な手法がありますといったことを紹介しております。現実的には、まだ困っていないという声が多いようですが、検討するような場面があれば、市の方に御相談いただきたいとお伝えしております。 続いて、東西交通について、本市は、鉄道駅が平塚駅しかない中で、網形成計画でも、平塚駅から小田急線の本厚木駅、伊勢原駅、秦野駅といった駅に向けた路線を交通軸と考えておりますので、現状の取組の中では、東西交通の整備を進めてはおりません。
委員	自治会への説明の際に、東西間の移動について意見があった場合には、特に考えていないという説明をされているということですのでよろしいでしょうか。
事務局	自治会に説明している中で、地域としての意見ではなく、それぞれの個人の意見も多分にあるのが実情ですので、それが地域全体としての考え方であれば、一緒に考えていく必要があると考えています。
委員	今後は、そうした個人の意見を地域の意見としてまとめた上で相談するという認識でよろしいでしょうか。
事務局	御認識のとおりです。 最後に、地域の自発的な取組については、地域福祉の取組の範囲で実施しますので、やはり、出来ることと出来ないことがあると思います。また、地域内移送は、地域の方の「志」によって取り組んでいただいているので、市としては十分な形で支援していきたいと思っておりますが、いわゆる公共交通の代替には成り得ないと考えております。例えば、バス停までの移動、買い物といったことが、メインターゲットになると思いますので、公共交通機関として捉えるのは難しいと考えております。 補足となりますが、地域内移送の関係も、説明会の中では、一つの手段ということ

	<p>でお話させていただいております。率先して取り組みたいという思いのある地域がある一方で、高齢者の方が高齢者を運ぶのは困難であるといった意見もあるなど、地域によって考え方が違う部分があると感じています。地域として、まとまってやっていこうという思いがあるところは、先に進んでいくのではないかとすることを主観ではございますが、そうした印象を説明会の中で受けました。</p>
<p>会長</p>	<p>説明会については、自治会長を中心に説明していると、やはり車に乗っている人が殆どで、公共交通にあまり乗っていないということも考えられますので、是非、末端の住民の方の意見も拾い上げて、それに対応できるよう御検討いただければと思います。これから色々な地区もあると思いますので、地元の方の意見を吸い上げる形を検討いただければと思います。</p> <p>それでは他に御意見ございませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料1 - 2の各地区からの主な意見を見ていて、旭南地区では、公共交通を利用させたいなら、割引券を配ったりしたらどうかとあります。なるほど、仰る通りだと思いました。また、年寄りバスに乗ってまで出かせないと、要するに黙ってても利用しないので需要を喚起していったらどうですかという御意見だと思いますが、全国で色々なMaaSの取組が進んでいる中で、観光だけではなくて、地域交通の活性化という点でも色々な種類のMaaSがあります。商店街と一体となって、一定以上お買い物をしていただければ、割引になるようなクーポンをつけたり、あとは市民の方には安くするというので、マイナンバーカードと紐づけたりと、そういうことがデジタルで出来るような世の中になっているということで御紹介させていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>様々な地区で、先ほど委員が仰った連携についても御検討いただければと思います。やはり、今後は公共交通の利用に対する需要が減っていくということがあると思いますので、利用促進の観点から検討いただければと思います。</p> <p>バス事業者の方で乗り継ぎ割引は実施していますか。</p>
<p>委員</p>	<p>市内では実施しておりません。</p>
<p>会長</p>	<p>先程のとおり、乗り換えの話もありますので、需要があれば検討いただければと思います。</p> <p>神奈川大学湘南ひらつかキャンパスの移転について、バスの本数は1時間に1本程度ということで、利用者が減ってしまうのではないかとと思いますが、バス事業者さんいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>現時点では、改正後の利用についてデータとして確認出来ていないのですが、今後、利用状況を確認した中で、地区とも話してこのまま維持できるのかどうか、発展的に解消できるのかどうか、違う手立てを考えていかなければいけないのか等も含め、注視していく必要があると考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>今後の協議会の場合でも、状況が分かれば情報提供いただければと思います。周辺では、地域内移送支援も2地区で実施されていると思います。そうしたことから、地区の方々には、移動について、色々と考えているところがあるのではないかとと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>他に御意見ございませんでしょうか。</p>

委員	確認ですが、資料1-1で、平塚駅とツインシティを結ぶバスについて、令和5年度の取組では、連節バスの導入に向けた調整ということで記載があります。導入に向けた可能性はどれくらいあるのか、状況を教えていただければと思います。
事務局	今後の需要を見越してということになりますので、現段階の想定においては、連節バスは必要ないものと考えております。今後、アウトレット開業によって、大幅に利用者が増加するようであれば、バス事業者と調整を図っていきたいと考えています。
委員	国の方でも、連節バス、BRTの利用促進など、色々な施策を実施しておりますので、BRTを導入した時の複合的な交通モードとの接続、モビリティハブと呼んでおりますが、そういうものの接続支援も実施しておりますので、機会があれば、国に御相談いただければと思います。
会長	BRTについては、かなりインパクトがあると思います。トランジットセンターについては、連節バスも発着できるようになっているということですので、国の支援も含めて検討をよろしくお願いします。 地域内移送について、旭南地区は休止しているということですが、今後について分かれば教えていただきたいと思います。
事務局	地域の連携をどのようにしたら良いかが一番の課題になっておりますので、今後少しずつ解決していくしかないものと考えています。
会長	ドライバーと利用者が増えないことが課題になりますか。
事務局	ドライバー、利用者双方になります。地域の中でも、遠慮してしまうようなマインドが働いているという話は聞いています。
会長	今後、色々な地区で地域内移送実施の手が上がってくるのではないかと気もしておりますが、その辺りはいかがですか。
事務局	現在のところ、具体的な話はいただいていない状況です。過去に何か所かお話をさせていただいて、将来的に検討という話があった地域もありますので、改めてお話すことで、話が進むのではないかと考えています。
会長	ニーズはあると思いますし、様々な連携方法もあると思いますので、県の支援事業は終わってしまいますが、引き続き、市から支援をお願いできればと思います。 他にございませんでしょうか。
事務局	先ほどMaaSの関係で御意見があったと思いますが、バス事業者さんの方で実施された事業についても、宜しければ御紹介いただければと思います。
委員	昨年になりますが、宮ヶ瀬の方で観光MaaSに近い形で、小田急のEmotというアプリを活用した実証実験をしました。当社では、観光エリアというよりは、地域に根差した公共交通のエリアの方が多いので、いかに地域にMaaSとして落とし込んでいけるか、今後勉強していきたいと考えております。 その他のところで、1件報告させていただこうと思ったのですが、2月17日付で、

	<p>国土交通省に運賃改定に係る変更認可申請をさせていただきました。7月1日に運賃改定を予定しており、現在、審査していただいているところです。弊社の運賃改定は26年ぶり、この間、消費税改定を除き、運賃を変えずに運行しておりましたが、コロナや少子高齢化、乗務員不足といったところで複合的に厳しい部分があり、地域交通を守っていくという意味でも運賃改定の申請をさせていただいております。</p> <p>ただ、利用者に負担を強いるだけでなく、サービス施策として、この4月1日から小学生以下のお子様に関しては、ICカードを利用いただければ、1乗車50円で利用できます。昔、ちびっこ50円ということで、土日1乗車現金50円で実施しておりましたが、そちらもICを使っていれば全日50円で御利用いただけるほか、通学定期の割引率拡大、高齢者支援ということで、かなちゃん手形の販売額や利用額は維持させていただきます。</p> <p>また、発展的なところで、MaaSアプリを活用した中で、オフピークチケットなどを検討しているところです。今後しっかりと公共交通を守れるように、色々な施策に取り組んでいきたいと思っております。</p>
会長	<p>運賃改定については、報道でも、首都圏の鉄道会社でも運賃を上げるということもありましたが、中々大変なところだと思いますので、色々御協力を得ながらということになるかと思っております。</p> <p>小児50円について、現金払いの時には結構好評だったのでしょうか。</p>
委員	<p>現金の時も、それなりに利用されて、土日のお出かけなどに活用いただいております。小学生などが出かける際に、親御さんにも一緒に付き添っていただき、利用促進に繋がればと思います。</p>
会長	<p>オフピークに関する取組については、鉄道事業者でも定期券利用で実施されると聞いております。</p>
委員	<p>3月18日から実施予定です。平塚市については、残念ながら範囲外となります。</p>
会長	<p>始まったばかりだと思いますが、状況が分かれば教えていただければと思います。ICの料金体系は複雑になって分かりにくくなるかもしれませんが、有効に活用していただき、利用促進に結び付けていければと思います。</p> <p>他に御意見ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>前回、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議について、難しい要望内容が多かったと思いますが、平塚駅のホームドア設置について、進捗状況がわかりましたら教えていただければと思います。</p>
委員	<p>2031年までに、首都圏330の駅すべてにホームドアを整備するというので進めております。その順番等につきましては、停車する車両数、位置、両数など、色々考慮すべき事項がありますが、整備する線は集中的に整備していきます。</p> <p>昨今は、半導体がなかなか入ってこないという状況もあって、一旦決めた順番を練り直しということにもなっている状況で、実際に次はどこを整備するというのが、ホームドア整備を担当している者にも分からないような状況になっています。材料調達等が見えてきた段階で、関係する自治体の方々にお話して、補助金をいただけるところには、予算を確保していただくといったやり方をしております。</p>

	<p>よく質問されることはありますが、現時点でお答えできることは、それぐらいのこととなります。早く整備しようと思いで、取り組んでおりますので、自治体の方々にも御協力いただきながら、整備していきたいと思えます。</p>
会長	<p>今回の運賃改定もホームドアを作るための一つの理由ということですので、是非進めていただければと思えます。 タクシーの状況について、分かれば御発言願います。</p>
委員	<p>タクシーについて、昼間は通常の利用状況に戻ったものの、ドライバー不足ということもあり、なかなか乗客を捌ききれない現状があります。夜も、台数が少ないようで、飲みに行かれる方は多いにもかかわらず、タクシーが捕まらないということになっています。以前のコロナの時よりは、だいぶ利用者が戻っていると感じます。 続けて、この後説明される資料2についてですが、(2)に記載の妊婦タクシーの利用券が本年度で終わるとのことで、何とか継続してもらえないかと思えます。若い世代が住みやすい平塚を目指すという意味でもお願いできればと思えます。</p>
会長	<p>老人クラブ連合会から何か御意見等ございますか。</p>
委員	<p>大体80歳から85歳になってくると、老人クラブが身近に感じる課題として土屋地区が挙げられます。どうしても土屋地区から来られる方からは、バスの本数が少ないという意見があります。バス事業者も非常に努力されていることは分かるのですが、1時間1本を30分1本にできないのか、或いは朝夕の利用者が多く、日中利用が少ない中で、土屋・吉沢地区から来る高齢者は、主に福祉会館を利用していますので、そこへ集まって来る足として、日中にバスが少ないと困ってしまい、欠席されることもあります。そういった面から、バスの運用について改良していただけたらと思えます。 併せて、家からバス停まで歩くのが大変だというケースもあります。その辺も、見直していただければ、非常に助かるのではないかなと思えます。色々と課題があるとは思いますが、考えていただければ、ありがたいと思えます。</p>
会長	<p>需要を確認しながら、それに対応したダイヤができればということもありますし、最近では、グリーンスローモビリティなどによる支援といった取組もありますので、検討しながら取り組んでいただければと思えます。</p>
委員	<p>資料1-2で各地区の意見が記載されておりますが、この部分を読んだだけでも、バス事業者には努力いただいていると思っています。ただ、現状はそういう意見が多いということですので、よろしく願います。</p>
会長	<p>続いて、議題2について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料2について事務局から説明)</p>
会長	<p>先ほど、妊婦タクシーについて支援を続けて欲しいという意見もありましたので、御検討をお願いできればと思えます。燃料高騰についても、今後どうなるかという部分もありますが、今年度、支援がされているということですのでございます。 他に御意見等ございますでしょうか。交通管理者から最近の交通事故の状況など、もしわかれば、お願いできればと思えます。</p>

委員	<p>県内の交通事故の状況について、説明させていただきます。初めに、昨年の神奈川県内の交通事故の状況について、発生件数は2万1095件、負傷者数、けがをされた方が2万4382人、交通事故でお亡くなりになられた方は113人となりました。なお、交通事故でお亡くなりになられた方は、統計が残る昭和23年以降で最少人数となりました。</p> <p>続きまして、平塚警察署管内の昨年の事故の状況ですが、発生が878件。負傷者数が1001人。交通事故でお亡くなりになられた方は、4人となりました。県下の54の警察署の中で、発生件数については、ワースト2位、二輪車が関係する事故、これが全部で200件ございましてワースト3位。高齢者が関係する交通事故、こちらは341件ございましてワースト1位、そして自転車が関係する交通事故、こちらが308件でこちらもワースト1位という状況になってしまいました。</p> <p>今年に入りまして、昨日時点の交通事故について、発生件数が159件。負傷者数は184人、交通事故でお亡くなりになった方は、1人となっております。昨日時点では発生件数、負傷者数、交通事故でお亡くなりの方、全てにおいて前年よりも減少をしている状況です。ただ、先ほども自転車事故、高齢者事故が非常に多いという話をしましたが、今年になっても、県下平均に比べてその構成率が非常に高い状態になっており、依然として予断を許さない状況にあります。引き続き、安全で安心して暮らせる社会の実現のために、交通事故の発生状況を分析して、それに伴った各種対策を実施しているところですので、皆様方の御協力をよろしくお願いたします。</p>
会長	<p>平塚市は、自転車を乗りやすいので、それに応じて事故も多いのではないかと思います。どんなタイプの事故が多いか、わかりますか。</p>
委員	<p>自転車は軽車両となりますので、一時停止しなければいけません。それをしないで交差点に入ってしまう、事故になるケースが多いです。</p>
会長	<p>最近、電動キックボードが増えてきていますが、平塚ではそこまで普及していないと感じます。</p>
委員	<p>平塚市は、地形が平らですので、電動自転車もそうですが、他の地域に比べたら、若干少ないのかなという印象を受けます。</p>
会長	<p>他に御意見いかがでしょうか。個人的には東海大学前駅への路線バスの乗入が気になります。駅前ロータリーへの乗入はなかなか難しいのでしょうか。</p>
委員	<p>現状で、東海大学前駅のロータリーについては、出口部分で右折できないため、ロータリー内のキャパシティが足りないといった課題があるため、どのように解消していくかについて、秦野市を含めた中で協議しております。近々、実際のバス車両を持っていった中で、実地調査しようという話も出ていますので、今後も探っていきたいなと思っています。</p>
会長	<p>急行便だけではなくて、途中にも停車して欲しいというニーズもあるようですので、是非よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、全て御意見出尽くしたと思いますので、事務局にお返ししたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは以上をもちまして、令和4年度第2回平塚市地域公共交通活性化協議会を</p>

	<p>閉会いたします。来年度も2回程度、開催を予定しております。引き続き本市の地域公共交通活性化に御協力くださいますようお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>
--	--

以上